

大会を終えて

第31回全国(福井)大会を終えて

福井県文書館長 出口政司

はじめに

平成16年2月、全史料協藤原会長(北海道文書館長)が本館に全国大会開催の要請に見えられ、その席でお引き受けしたのが福井大会開催の緒である。

本来、この様な大会の開催に携われることは光栄の極みであるはずであるが、年度が替わってこのことを引継いだ私としては、

1) 開館間もない時期で館運営そのものが定着していない。

2) 本来の業務が山積しており、成果・実績を求められている。

3) 職員が少なく、十分な対応が出来ないので?

などと、内心、心配事が先に立ってしまった。

また、開催時期に福井県を挙げて取り組んでいる「国民文化祭」が開催される。同じような団体である「地方史研究協議会」の開催日時が決定している。

さらに、聞くところによれば、全史料協の大会には100名収容の分科会3会場を用意する必要がある——etc。

果たしてこれらの諸問題をクリア出来るのか——。

会場

早速、準備に向けての館内打合せを行う。共通した意見は、早く開催日時を決めて会場を押さえること。特に会場については、職員が少ないことから研修会・研究会・総会・懇親会など一つの会場で何もかも賄える省力化が必須条件であった。

大規模な会場はいくつかあっても3分科会が同時開催できる会場となると国際交流会館

しか思い浮かばない。早速、国際交流会館に接触するが、公的施設のため半年以上も前からの使用予約は引き受けないとのこと。それでも、担当次長にこまめに予約確認を入れる条件で仮予約の了解を得る。—安心!。

次に、9月に札幌市で開催された全史料協第2回役員会に、第31回全国(福井)大会の期日・会場について議題として提案し、

開催日：平成17年11月9～11日

会場：福井県国際交流会館

の承認をいただくが、この間、嘱託職員・職員の退職を経験するなど前途多難である。

大会運営

前回の山口大会は、第30回という記念大会でもあり内容のある立派な大会であった。大会の席上、福井大会について更に30年先を見据えた大会に!また60年を見通した大会にしたい、等とのご意見が出された。大会の趣旨や目的については大会企画委員会・研究研修委員会に委ねることとして、私共開催県としては「福井県からの情報発信」福井県をより良く知っていただくことに重点を置いた。

例えば?

1) 福井県は日本の中央に位置し、南限・北限の境界地に位置することから、自然が豊かで美味しい県産品が数多くある。より多くの県産品を味わっていただく。

2) 「新国民生活指標」いわゆる「豊かさ指標」で総合的に高い評価を受けた。特に「癒す」部門では常に上位であったことから、ゆったりした福井での時間を過ごしていただくことや「福井県マニフェスト」にある福井の活力の源を知っていただきたい。

3) 会場である国際交流会館から1～2分のところに福井藩主松平家の別邸「養浩館」があり、見学された方もおられたと思うが、福井の歴史にも触れていただきたい。

この様な気持ちで設営させていただいた。

具体的には、お弁当の「のし」に県産品を紹介する地図を載せ、食材のほとんどを県産品で賅った。懇親会についても同様で、県産品の使用とその調理は福井の風土に根づいた方法で提供させていただいた。

JSN 第31回 全史料協全国(福井)大会



郷土芸能としては、懇親会の雰囲気なども考慮してマリンバの演奏をお願いした。このマリンバは、福井県産業の中でも全国に誇る楽器製品であり、教育用分野では国内トップのシェアをもっている。懇談でご記憶に無い方も居られるかと思うので、演奏された曲目を記載する。

- ・チャルダッシュ
- ・糸
- ・踊り明かそう

また、もてなしの一環として、JR福井駅から会場までの案内標識の設置、会場から最も近い宿舎の配慮や、関係団体をお願いしての県産品の販売、観光案内なども取り入れてみたが、如何だったでしょうか。

視察

最終日は文書館の視察。会場・宿舎から距離があり、交通の便が悪いことから送迎バスを用意した。当初の計画では、1班・2班それぞれ50名を定員と考えていたが、帰途の関係からか1班に集中してしまった。調整も考えたが、調整に要する時間や既に交通機関を

予約済みの参加者が相当いるであろうことなどを考慮して全て受け入れることとした。結果、136名の参加となり、参加された方々には混雑、説明の不手際、時間的に余裕が無いなど相当不満も残ったのではないかと思います。お詫びしたい。

ご承知のように、福井県は戦災・震災という二度の大きな災害に貴重な資料を焼失・消失していてご覧頂ものが少ない。折りよく、昨年7月に「五箇条の御誓文の草稿」を隣の県立図書館が入手したのでご覧頂いた。ご感想は！

最後に

大会を振り返ってみると、あれもこれもと不十分さや悔いの残ることばかりで、多大なご迷惑をお掛けしたような気がする。今大会についてのご感想やご意見については、アンケートや別の機会に忌憚りの無い率直なご意見をお聞かせいただきたいと思う。今福井大会にご参加いただきました皆様方に重ねて厚くお礼を申し上げます。

なお、各委員会で実施しているアンケートについて、開催県としても具体的な設問、回答しやすいような択一式、更にご意見を伺うという内容などの検討の上、参画できたらと思われた。



福井県から岡山県への大会引き継ぎ